



## 韓国・高麗大学校との 合同カリキュラム委員会を発足

2013年3月8日(金)、アジア共同学位開発プロジェクトは、東北大学大学院教育学研究科と高麗大学校師範大学による合同カリキュラム準備委員会を開催しました。高麗大学校師範大学からは、朴賢淑副学長、朴仁雨教育学科主任、韓龍震教授が参加しました。

合同カリキュラム準備委員会では、まず、清水助教からプロジェクト概要と今後のミッションについての説明がありました。その後、準備された各種議題について協議しました。

協議の結果、「東北大-高麗大合同カリキュラム委員会」(以下、合同カリキュラム委員会)が正式に発足され、実務者によって組織される連絡協議会を月1回開催することが決定しました。

合同カリキュラム委員会のミッションは、ジョイントディグリープログラムの開発をめざし、単位互換、評価、成績管理、学位授与、質保証に至るプロセスを整理・推進することです。また、プログラムを運営する上で生じる課題を抽出し解消方法を協議します。国の法律や制度、習慣も違う中で進める国際プロジェクトの場合、大学間レベルでの解決が難しい課題に直面することも少なくありません。そういった課題にも果敢に挑戦し、新たな地平を切り開くことが我々の大きな目標です。

本郷研究科長は、挨拶で、「直接顔を合わせ、意見交換を行なう重要な会議です。お互い協力しながらよりよいものを創り出していきたい」と述べました。アジア共同学位開発プロジェクトは、今後高麗大学校をはじめ、アジアの大学とともに、さらなる連携を図りながら、高等教育の発展に寄与していきます。





# 国際シンポジウム「東アジアの高等教育の行方 —共同学位プログラム創設を目指して—」の開催



2013年2月21日、東北大学文科系総合研究棟11階大会議室にて、4名の客員教員(申正撤准教授【韓国・ソウル国立大学校】、梁忠銘教授【台湾・国立台東大学】、胡建華教授【中国・南京師範大学】、鄭同僚准教授【台湾・国立政治大学】)を講演者として国際シンポジウムを開催いたしました。その目的は、①世界でも高等教育を取り

巻く環境の変化が特に著しいとされる東アジア諸地域における各国・地域の高等教育に関する最新の改革動向や、独自の取り組みを把握すること、②そうした動向を踏まえた上で、東北大学教育学研究科の取り組みである共同学位開発プロジェクトがその中にどのように位置づき、将来どのような形に発展するかを明確にする

手がかりを得ることです。シンポジウムでは、本郷研究科長による開会の挨拶に続き、清水プロジェクトサプリーダより基調講演「東アジアの高等教育の行方—共同学位プログラム創設を目指して—」がなされました。そのなかで、まず、本プロジェクトは、流動性の比較的高い研究者や専門職と、これまで流動性の低かった

教員の中間の人材、すなわち、政策立案者やリーダー教員などを育てることを念頭に置いているために、「アジア共通の文化」を基盤としながら、教育学、教育心理学を含む幅広い領域を含んだ共同カリキュラムの作成、フィールドワークやサマーセミナーなどの実施を予定していることが報告されました。その際、特に東日本大震災後に高まった子どもたちのメンタルケアに関連する内容をフィールドワークに取り入れることで、共同学位創設に対して東北大学独自の貢献ができると提案されました。

続いて、4名の客員教員より講演が行われました。申正撤准教授による講演「ポスト大衆化時代の大学像—教育研究システムの再構成—」では、現在の大学の変化について、①エリート養成から「ポスト大衆化=Post-massification」の時代になったこと、②経済におけるグローバル化によってWCU(World Class University)の影響が増大したことで知識の生産に重点が置かれる一方で、研究が教育と直結しないために、「研究成果を教える」ことが困難となってきていることが指摘されました。

梁忠銘教授による講演「国際化における大学の社会と地方に対する役割—台東大学の例を中心に—」では、地方都市の国際化推進に対する大学の貢献について、国立台東大学での経験が報告されました。例えば、同大学では国際交流事務センターを設立しその事業を統括することで、地方都市での円滑な国際交流を促していることや、国際化推進のための遠隔教育、海外教育見学の企画や国際会議の開催に協力していることな

どが報告されました。胡建華教授による講演「中国における高等教育の新たな改革」では、中国で推進される国際化事業が報告されました。中国では、1990年代後半以降、高等教育の入学者が急激に増加したことを受け、2012年に教育部は「高教30条」(教育部の高等教育の質を全面的に高める若干の意見)において、高等教育は量的発展よりも質を重視すべきであると指摘しました。そこで、中国の高等教育機関がその質的向上を目指すなかで、いかに国際化へ対応しているかについて、報告がなされました。

鄭同僚准教授による講演「ポリスの建設—国立政治大学における全寮制カレッジの経験から—」では、国立政治大学が創設したレジデンシャル・カレッジの紹介がなされました。このレジデンシャル・カレッジは、古代ギリシャのポリス(都市国家)のように、多くの機能が集約された大学において学生が共同生活を送り、多様な問題に対応する「総合力」を身に着けるものであります。また、それには、グローバル人材に必要な様々な知的能力の育成といった効果も含まれていると報告されました。

引き続きディスカッションの中では、共同学位の創設について具体的な議論がなされました。その中で、共同学位を創設していくに当たり必要となる基本的姿勢は「プラグマティズム」であることが指摘されました。今後、プラグマティックな行動力も伴いながら、新しいタイプの教育を仙台から発信できるように努めてまいります。



## 国際セミナーを開催

東北大学教育学研究科共同学位開発プロジェクトでは、国内外の研究者との交流を促進するため、国際セミナーを開催しています。第6回国際セミナーではロンドン大学よりJohn O'regan先生、第7回国際セミナーでは同志社大学より山田礼子先生をお招きしました。



### 【第6回国際セミナー】

2012年10月18日  
 'English as a World Language: Some Perspectives on Teaching and Learning in a Globalized Age'  
 ロンドン大学 John O'regan 上級講師

### 【第7回国際セミナー】

2012年12月6日  
 「国際的共同教育の現状と課題—同志社大学の事例から—」  
 同志社大学 山田 礼子 教授





## 2012年度下半期進捗状況 (3月末日現在)

### シンポジウム・セミナー

- 2012年10月18日(木) セミナー「高等教育の国際化⑥」(講師: John O'Regan/Institute of Education, University of London、Mike Winter/Institute of Education, University of London)
- 2012年12月6日(木) セミナー「高等教育の国際化⑦」(講師: 山田礼子教授/同志社大学)
- 2013年2月21日(木) 国際シンポジウム「東アジアの高等教育の行方—共同学位プログラム創設を目指して—」(基調講演: 清水禎文プロジェクト・サプリーダー/東北大学大学院教育学研究科、講師: 申正撤准教授/韓国・ソウル国立大学校師範大学、梁忠銘教授/台湾・国立台東大学師範学院、胡建華教授/中国・南京師範大学教育科学学院、鄭同僚准教授/台湾・国立政治大学教育学院)

### 海外短期研修

- 2013年3月20日(水) 高麗大学校(韓国・ソウル市)  
～23日(土)

### 連携事業

- 2013年3月29日(金) 杭州師範大学(中国・杭州市)との学術交流協定調印式

### 国内調査

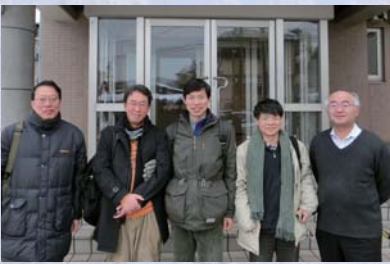
- 2012年10月18日(木) NAIST東京フォーラム(東京都)
- 2012年11月22日(木) NIAD-UE国際セミナー(東京都)

### 海外調査

- 2012年10月15日(月)～21日(日) ソウル国立大学校(韓国・ソウル市)
- 2012年11月4日(日) 北京師範大学(東京都にて会議)
- 2012年11月6日(火)～7日(水) ソウル国立大学校、高麗大学校(韓国・ソウル市)
- 2012年11月24日(土)～30日(金) 南京師範大学(中国・南京市)、浙江大学(中国・杭州市)、杭州師範大学(中国・杭州市)、華東師範大学(中国・上海市)
- 2012年12月2日(日)～5日(水) 国立政治大学・国立台湾師範大学(台湾・台北市)
- 2013年2月26日(火)～3月3日(日) 東北師範大学(中国・長春市)
- 2013年3月11日(月)～16日(土) ロンドン大学(英国・ロンドン市)、ブリュッセル大学協会(ベルギー・ブリュッセル市)

### プロジェクト客員教員

- 申正撤 准教授 (韓国・ソウル国立大学校) 2012年10月17日～2013年2月28日
- 梁忠銘 教授 (台湾・国立台東大学) 2013年1月7日～2013年3月15日
- 胡建華 教授 (中国・南京師範大学) 2013年1月22日～2013年3月28日
- 鄭同僚 准教授 (台湾・国立政治大学) 2013年1月25日～2013年2月24日



**AJP** ASIA  
JOINT-DEGREE  
PROJECT

東北大学 大学院教育学研究科  
アジア共同学位開発プロジェクト事務室  
TEL: 022-795-3756 E-mail: ajp@sed.tohoku.ac.jp  
[www.sed.tohoku.ac.jp/~ajp/](http://www.sed.tohoku.ac.jp/~ajp/)